

カドヤ食堂の なぞなぞ



おっと待ちなよお客様さん
うな丼だけは、なぞなぞで

ウラヌのナゾナゾ王者が挑む冒険コマンド!

脚本・演出：佃 典彦
美術：青木拓也
照明：四方あさお
衣装：木場絵理香
音楽・音響：ノノヤママナコ
振付：下出祐子
写真：服部義安
映像：山内崇裕
宣伝美術：くろだりか



上演のご案内

構成人数 : 3名
上演時間 : 60分予定(休憩なし)
準備時間 : 3時間
片付け時間 : 1時間30分



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地
TEL.052-772-1882
FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんこは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。

うりんこの上演
レパートリーは
こちら



「なぜ?」という好奇心、 それは子どもたちの まだ見ぬ世界を広げます。

子どもたちは大人が何気なく流してしまう小さなことにも気づき、疑問を持ちます。主人公ひさしはカドヤ食堂の気になる小さな「なぜ?」をついに自分で確かめに行きます。そしてその小さな勇気と行動力の先に、田んぼの番人とのなぞなぞ対決という大冒険を体験します。なぞなぞと歌を散りばめた楽しい劇で、この冒険を一緒に楽しんでください。子どもたちの日常にある小さな好奇心の先にも、素晴らしい冒険の世界が広がっていると信じています。 劇団うりんこ

STORY ストーリー

駅前の商店街にあるおんぼろ食堂、カドヤ食堂には、誰も食べたことがない幻のメニュー「うな丼」がある。留守番で夕食を一人で食べる事になったある晩、ぼくは、思い切ってカドヤ食堂で「うな丼」を頼んでみた。すると食堂のおじさんは「なぞなぞはとくいかい?」といってぼくを連れてうら口の小さなドアから暗い表へ出た。月明かりの中に広がる田んぼ、響き渡るカエルの声…。そこでぼくたちをまち受けていたのは、田うなぎを守るなぞなぞの番人だった!



お前の 難問珍問 今日こそ 解いて みせる!!

愉快的歌盛り沢山で
お届けします!

赤いよりのの腰曲がり
うではチヨッキン
コレ何じゃ〜?
♪

